

「地図豆」の地図を広げて街歩き

40-1 文人たちの本郷坂道めぐり（距離約 7.5km）



樋口一葉旧居跡へ

【道順】

JR 水道橋駅→忠弥坂→本郷給水所公苑→壱岐坂・新坂→真砂坂・東京メトロ地上部→鏡坂・金田一京助旧居跡→樋口一葉旧居跡→鳳明館・梨の木坂→樋口一葉旧居跡井戸→炭団坂・宮沢賢治旧居跡→炭団坂上・坪内逍遙宅跡→本妙寺坂→菊坂・菊坂下道→長泉寺・宮沢賢治旧居跡→金魚坂→かねやす→本郷座跡→御霊神社・霊雲寺・清水坂・妻恋神社→立爪坂・実盛坂→湯島天神・几号水準点・男坂→旧岩崎庭園・無縁坂→東京メトロ湯島駅

ルートマップ



【街歩き解説】文人たちの本郷坂めぐり

JR 水道橋駅から始めて、本郷台地の坂道を上下して、その高まりを実感しながら、夏目漱石・樋口一葉を初めとする文人たちが住まいし、散策した本郷の坂道をめぐる。

- ・ 忠弥坂：下水道橋交差点のすぐ先にある忠弥坂下には、武道具を扱う珍しい店がある。由比正雪とともに幕府転覆を企てた丸橋忠弥の槍道場が近くにあったのだとか。坂下には、室生能楽堂も。
- ・ 本郷給水所公苑：公苑には、神田上水石樋が移築復元されており、東京都水道歴史館も併設されている。
- ・ 壱岐坂・新坂：近くに彦坂壱岐守屋敷があったので、壱岐坂と呼ばれた。新坂は、坂上北側に内藤外記という旗本の大きな屋敷があり、外記（ゲキサカ）とも呼ばれた。明治のころこの辺りには、石川啄木、斎藤緑雨、内藤鳴雪などの文人が住んでいた。
- ・ 真砂坂・東京メトロ地上部：地下鉄丸の内線に沿った坂。丸の内線の地上部がまじかに見ることができます。白山通りから笠坂への上る小路には、小さな緑が多くあっていい雰囲気が残っています。

- ・ 鐙坂・金田一京助旧居跡：左右に、小さな路地が続くあたりに、国語・アイヌ語研究で有名な金田一京助旧居がありました。石川啄木が度々借金をするために、ここを訪ねてきたはずです。説明板によれば、鐙をする者が住んでいたから、道に形が鐙に似ているから名づけられたという鐙坂の踏み石は美しい。



鐙坂

- ・ 樋口一葉旧居跡：鐙坂脇の昔懐かしさが感じられる小さな階段を下りると、樋口一葉旧居跡だ。
- ・ 鳳明館・梨の木：鐙坂から菊水湯を経て菊坂へ出ると、樋口一葉がよく通ったという伊勢屋質店の建物は今も健在である。菊坂から北へ出る。それほど急坂ではないが、胸付坂と呼ばれている。鳳明館は、明治30年代に建てられた閑静な本格和風旅館で、国指定の登録有形文化財。明治には下宿屋として建築され、その後昭和になってから旅館建築となったという。



菊水湯・菊坂伊勢屋質店

- ・ 梨の木坂・樋口一葉旧居跡井戸：菊坂から裏通りを抜けた小さな谷の奥には、樋口一葉が住まいしていたころに使用したという井戸が今も残る。この辺りの踏み石も美しい。
- ・ 炭団坂・宮沢賢治旧居跡：坂道で転ぶと炭団のようになったからつけられたという、炭団坂下の菊坂下道あたりが宮沢賢治旧居跡である。



炭団坂・炭団坂上から

- ・炭団坂上・坪内逍遥宅跡：炭団坂上にある小路からは、段丘下の菊坂辺りが見渡せる。崖上には、演劇学で知られる坪内逍遥宅（春廼舎）があって、正岡子規らが訪れたという。
- ・本妙寺坂：本妙寺に由来する坂。本妙寺は、江戸城をはじめとする江戸市中の大部分を焼いた 振袖火事と俗称された明暦の大火（1657）の火元といわれている。
- ・菊坂・菊坂下道：川筋だと思われる菊坂下道。江戸時代は菊の畑が広がっていたので菊坂町と呼ばれるようになったという。当時は、菊人形も飾られていただろう。
- ・長泉寺・宮沢賢治旧居跡：周辺に住まいした文人も訪れたであろう長泉寺の門前から、菊坂通りに出て、さらに石段を下った菊坂下道に宮沢賢治（旧居跡）は住んでいた。
- ・金魚坂：金魚坂と看板のある小路には、都会では珍しい、そして懐かしい（吉田）金魚店がある。



金魚坂

- ・見返り坂・かねやす：江戸を追放される者が、この辺りで放たれ、縁者が見送った小さな坂を見送り坂。追放された人がふりかえった坂を見返り坂という。坂の傾斜は少ない。かねやすは、江戸はどこまでか？に答えて「朱引き」が行なわれたとき、本郷は朱引外

であった。ところが、「乳香散」と呼ばれる歯磨き粉が人気になり、これを商う「かねやす」までは江戸の内と川柳に詠まれた。

- ・ 本郷座跡：明治6年に開かれ、歌舞伎も上演した座は、後に本郷座と呼ばれて新派の上演もおこなわれて、昭和の初めまでこの地にあった。
- ・ 御霊神社・霊雲寺・清水坂・妻恋神社：少しの間、神社やお寺をたどって歩む。本郷通りへ向けて下りる道を、傘谷坂、横見坂、清水坂と呼ぶ。傘谷坂は、傘づくりの職人が多く住んでいたの、その名がついたという。しゃれた名前の妻恋神社は、日本武尊が房総へ向かう大暴風の際に、身を海に投げて海神を鎮めたという弟橘姫を祀る。



実盛坂・立爪坂

- ・ 立爪坂・実盛坂：立爪坂、三組坂、ガイ坂、実盛坂と続く。実盛坂は、東京一の急坂階段だという。台地の崖にへばりつくような作られた階段は、恐ろしいほど急である。
- ・ 湯島天神・几号水準点：湯島天神南向かって左の鳥居には、几号水準点がある。菅原道真を祭る湯島天神は、段丘縁にあって、男坂・女坂・夫婦坂から上る。



男坂・無縁坂

- ・ 旧岩崎庭園・無縁坂：庭園手前には、趣きのある木造建築。岩崎家建物は、神田ニコライ堂などで有名なコンドルの設計。もちろん岩崎弥太郎は三菱財閥の創業者。庭園入口

に三菱の社章の由緒が記された碑があるほか、水洗便所と本館と地下でつながる撞球室が珍しい。庭園の北を上る坂は、無縁坂と呼ばれ、煉瓦塀が美しい。

+* * *+ オフィス 地図豆 yamaoka mitsuharu +* * *+